

飯塚市議会議員

ながすえ雄大

～まいしん～

活動報告

VOL.27



市内の各地区における交流センター整備事業が完了

平成29年より始まった飯塚市内の各地区における交流センター整備事業が終了しました。それぞれの地区の状況により移転建替えが行われたところ、現地での改修工事が行われたところとありますが、いずれにしても交流センターはその地区の拠点となるべき施設であり、各地域の発展のために今後どのようにその役割を担っていくかが最も重要だと考えます。

今後はそれぞれのまちづくり協議会などの地域との関わり方を検討するなどして、それぞれの特色や独自性が大いに発揮されるような地域づくりに貢献してほしいと思います。

庄内交流センターが複合施設としてオープン

庄内地区においては、今まで交流センターは庄内体育館の隣にありましたが、本年4月より庄内保健福祉総合センターハーモニーに移転し、新たな複合施設としてオープンしました。地域拠点の充実、住民の利便性向上、行財政改革などが移転の理由ですが、今回の移転を機に行われた大規模改修により、屋根、給排水設備、電気設備、照明機器などの施設としての基幹部分が全て新しくなっています。このことは一見なかなか気づかれにくい部分ですが、災害発生時などには指定避難所にもなる施設ですので、非常時にしっかりと機能するという意味でもこの整備が行われたことはとても重要です。

施設の内装についても採光面での工夫が随所で施されており、天井、壁、床などの色調と相まってとても明るい雰囲気の良い施設となりました。また、利用者がゆっくりとくつろげるテラスのある飲食スペース、面積が拡張された運動室、大小様々な規模を備えたダンスでの利用なども可能な8つの研修室、小中学生などの送迎の待ち合わせや学生の自主学習などにも利用できるフリースペース、その他にも大浴場、相談室、和室、調理実習室なども完備されており、バランスの取れた素晴らしい交流センターとなりました。これから庄内地区の拠点施設として多くの地域住民の方に利用していただける施設となっていくことを期待します。



飯塚市議会議員 永末雄大

一般
質問

高齢者の生きがいづくりについて

令和4年3月議会

質問の趣旨

本市では飯塚市高齢者保健福祉計画において高齢化に伴う様々な課題への対策が示されていますが、私はその中でも「高齢者の生きがいづくり」についてしっかりと検討することが、今後の高齢化社会において大変に重要な視点ではないかと考え今回の質問を行いました。

永末> 飯塚市高齢者保健福祉計画における6つの基本目標とは何か。

次長> 健康づくりの推進、安心安全な暮らしを支えるサービスの推進、生きがい活動と社会参加の促進、人と人とのつながりのある地域作りの推進、認知症施策の推進、介護保険事業の推進の6つである。

永末> 仮に行政が多額の予算を組んでサービスを提供したとしても、そもそもそれを積極的に活用しようという意欲がなければ有効には働かない。その意欲を高めるものの一つが生きがいだと考える。この地で暮らす高齢の方々が生き生きと生活しているか、楽しく活動できているかということがその街の活力にも繋がると考える。高齢者の生きがいづくりの促進のために現在市が行っている具体的な事業は何か。

次長> 各種機関と連携し地域貢献活動の推進、就労機会の提供を推進している。また同様の連携のもと、いきいきサロンの運営支援による居場所づくりや、趣味や交

流など生きがいづくりの場の創出などに努めている。

永末> 老人クラブの現状はどうなっているのか答弁を求める。

次長> 平成29年からの5年間で9クラブの減、会員数は689人の減となっている。

永末> クラブ数で1割減、会員数で2割減という状況であり、老人クラブという名称を変える検討をするなど抜本的な対策が必要だと考える。また、趣味・交流の場として日常的にグラウンドゴルフを楽しめる環境整備が必要ではないか。

部長> 拠点となるグラウンドゴルフ場の整備をするともに、身近な場所で手軽に楽しめる環境整備も必要だと考えており今後検討していく。

永末> 高齢化に関する課題については最近始まったものではなく、従前より認識されてきたものである。新しい発想を積極的に取り入れ今後の抜本的な対策を求める。

一般
質問

市民生活を守るための物価高への対策について

令和4年6月議会

質問の趣旨

コロナ禍の影響によるサプライチェーンショック、脱炭素の流れによる生産コストの増加、ロシアによるウクライナ侵攻など複合的な原因から物価が高騰しています。消費者物価指数も上がっており、現実には生活に影響を受けている市民の方が少なからず出てきているのではないかと危機感を持ったため今回一般質問として取上げました。

永末> 生活必需品などの物価が上がっているが、市民生活への影響をどのように認識しているか。

部長> 消費者物価指数が上がっており市民生活に影響が生じていると認識している。

永末> 市民生活に直結する物が大きく値上がりしており生活が苦しくなっていることをしっかりと認識してほしい。国や県では物価高対策を行っているので当然に本市でも取り組むべきだが、まずは本市の最新の財政状況について答弁を求める。

部長> ふるさと応援基金繰入金が増額などで大きな決算剰余金を見込んでいる。最新の財政見通しでの令和12年度の基金残高も39億円から90億円に改善される見通しだ。

永末> 将来的な見通しであるので不確定な部分はあるが、財政状況は改善されており、物価高対策を行える財

源はあると考える。今後を見据え本市としてもしっかりと物価高対策を行うべきではないか。

部長> 市民や事業者への負担軽減策を実施する必要があると認識しており、本定例会で追加補正予算を提案する予定である。

永末> 物価高が続き上がっていく生活コストに苦しんでいる市民が増えていると考える。その状況を少しでも改善するための具体的な対策として、タイミングを見てのプレミアム応援券事業を継続的に行っていくことを強く要望する。

市長> 現時点で物価高を懸念している。日本では収入が400万円未満の世帯が45%である。民間予想ではさらに物価が上がるとされており市としても何か支援する必要があると考え、様々な視点から検討して今回補正予算を提案した。

特集 special

飯塚市・嘉麻市・桂川町管内の ごみ処理施設のこれからについて

飯塚市、嘉麻市、桂川町管内のごみ処理施設は、ふくおか県央環境広域施設組合（以下「ふくおか県央組合」とする。）が管理を行っています。ふくおか県央組合は平成31年4月に、飯塚市・嘉麻市・桂川町・小竹町を構成団体として発足した組合です。組合長は片峯誠飯塚市長、組合議会は、各構成団体の議会から選出された15名の議員により構成されています。以下は、ふくおか県央組合の議会においてこれまでに審議され決定された事項の報告です。

1. 各地区のごみ処理施設について

現在、管内の可燃及び不燃ごみ処理は地区ごとに、飯塚市クリーンセンター（清掃工場・リサイクルプラザ）、桂苑（焼却・粗大）、ごみ燃料化センター、嘉麻クリーンセンター、リサイクルセンターの6施設にて行い、資源化・売却されなかった残渣等は外部への委託による処分のほか、リサイクルセンター（一般廃棄物最終処分場）、嘉麻クリーンセンター最終処分場での埋立処分を行っています。

地区	ごみ分別項目						
	可燃ごみ	不燃ごみ	かん・びん	粗大	古紙・古布	資源プラスチック	有害ごみ
飯塚地区	飯塚市クリーンセンター （清掃工場）	飯塚市クリーンセンター （リサイクルプラザ）					
穂波・筑穂地区	桂苑（焼却施設）	桂苑 （粗大ごみ処理施設）		飯塚市クリーンセンター （リサイクルプラザ）			
庄内・潁田 稲築地区	ごみ燃料化センター	リサイクルセンター		飯塚市クリーンセンター （リサイクルプラザ） ※稲築地区は資源化			
嘉麻市 （稲築地区以外）	ごみ燃料化センター	リサイクルセンター		資源化			
桂川町	桂苑（焼却施設）	桂苑 （粗大ごみ処理施設）		飯塚市クリーンセンター （リサイクルプラザ）			

2. 現状の可燃ごみ処理施設の概要について

施設名	開設年	処理能力(t/日)	年間処理量(t)	平均処理量(t/日)	年間処理経費(単位:千円)
飯塚市クリーンセンター	H.10	180 t/日	24,121 t	86.1 t/日	655,168
桂苑	H.6	74 t/日	16,146 t	57.7 t/日	366,627
嘉麻クリーンセンター	S.62	40 t/日	6,184 t	22.1 t/日	96,676
ごみ燃料化センター	H.14	54 t/日	9,001 t	32.1 t/日	409,812

※年間処理量・年間処理経費はH27～R1の平均値により算出

3. 可燃ごみ処理施設の再編について

飯塚市、嘉麻市、桂川町管内の可燃ごみの処理を、今後、より効率的かつ安定的に行えるように、令和5年3月末に、ごみ燃料化センターを廃止、嘉麻クリーンセンターを休止することとし、令和5年4月からは残りの2施設で稼働していくこととなりました。

【現在の稼働4施設】稼働率56%

- ・飯塚市クリーンセンター
- ・嘉麻クリーンセンター
- ・桂苑
- ・ごみ燃料化センター

【再編後の稼働2施設】見込み稼働率77%

- ・飯塚市クリーンセンター
- ・桂苑

4. 次期清掃工場の建設方針について

令和5年4月以降も継続利用することとした飯塚市クリーンセンターと桂苑も、それぞれに開設後、24年以上が経過しており、老朽化が進行しています。このため、両施設ともに延命化に向けた大規模改修工事を実施するか、施設を更新するかの検討が行われ、その結果、令和12年以降に新たな清掃工場を建設するという方針が決まりました。

5. 新たなごみ処理施設建設候補地の選定について

周辺環境への影響、災害時の影響、管内からの運搬業務の効率性、水や電力確保などといった条件面について、外部有識者等で構成する候補地選定会議での審査等を経て、既存施設である桂苑の敷地を含む約5haの土地（桂川町大字九郎丸）を候補地に選定し、現在、地域との調整が行われています。

令和4年3月

メガソーラー規制条例を提案しました

令和4年3月、数人の飯塚市議会議員とともにメガソーラーの規制に関する条例(正式名称:「飯塚市太陽光発電事業と地域との共生に関する条例」)を市議会定例会に提出いたしました。この条例を提出した理由は、本市においても大規模に森林を伐採し住宅街に隣接する場所にメガソーラーが設置される事例が現実が発生したためです。今後、同様の事案で生活環境に影響が生じるような地域が出ないようにしたいと考え、他の自治体などで施行されている同様の条例について調査研究を重ねてきました。現在、この議案については所管の委員会である協働環境委員会において慎重な審議が行われています。

令和4年7月19日

庄内交流センターハーモニーにて演奏会が開かれました

庄内交流センターハーモニー(以下、「ハーモニー」とする)にて飯塚吹奏楽団のメンバーによる演奏会が開かれました。ハーモニーはこれまでの保健福祉総合施設としての機能と交流センターとしての機能を合わせた複合施設となっており、今回の演奏会は庄内地区社会福祉協議会主催の事業として行われましたが、リニューアルされたハーモニーの周知活動なども兼ねられており、当日は多くの市民の方が参加されました。

新しいハーモニー内には飲食可能なカフェスペースが設けられていますが、今回の演奏会はその一角を利用して開催され、クラリネットアンサンブルと常設されているグランドピアノによる演奏で大変盛り上がりしました。

複合施設となったハーモニーにおいて、今後も同じような演奏会が継続して開催されることを望むとともに、音楽イベントのみならず、絵画展、写真展、書道展など様々な文化芸術にふれ合える、そのような地域の文化芸術の発信拠点になっていくことも期待しています。



新しくハーモニー内に常設されたグランドピアノ。元々サンヒルズ庄内にあったものですが、あまり利用されていませんでした。今後の利活用を要望しまして、このたびハーモニーへの移設が実現しました。



プロの音楽家である後閑由治さんの指揮のもと演奏する飯塚吹奏楽団のメンバー。

飯塚市政に対するご意見・ご要望を承ります。以下の方法でご連絡下さい。

ながすえ雄大 連絡先 (行政書士ながすえ行政法務事務所内) 〒820-0116 飯塚市多田180番地1

☎ 0948-82-0012 ☎ 0948-82-0013

✉ y.nagasue@gmail.com



日々の活動を **facebook** で紹介しております。ぜひアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/yuudai.nagasue>



飯塚市議会議員

ながすえ雄大

～まいしん～

活動報告

VOL.28



庄内中学校でイルミネーションツリーを企画

令和4年12月3日、庄内中学校敷地内にある20mのメタセコイアの巨木にイルミネーションが点灯しました。この日、庄内中学校敷地内にある芝生広場にて、イルミネーションの点灯式が開催されましたが、庄内中学校吹奏楽部の生演奏などもあり、とてもすばらしい式典でした。

この事業は、飯塚市の「NPO法人サカエ会」様が主催された事業ですが、この企画そのものは私が発案した事業でした。地域のシンボルである巨木をイルミネーションで飾ることで、多くの方に元気や勇気や感動を届けたいとの想いで発案しました。

イルミネーションツリーを見ていただいた多くの方から「とれもきれいで感動した。」「地域が明るくなった。」というような多くの嬉しい言葉をいただくことができましたし、取り組みがテレビ局などに取り上げられるなど、地域にも明るい話題を届けられたと思っています。

これほど素晴らしい事業が実現できたのは、すばらしい実行力と責任感で事業を完遂された「NPO法人サカエ会」様、共催者として物心両面で事業を支えていただいた「庄内地区まちづくり協議会」様、快く協賛金を決定し、この事業を後押しいただいた「庄内ライオンズクラブ」様、この事業趣旨をしっかりとご理解下さり、様々なご尽力をいただいた「庄内中学校」様など、その他多くの関係者の皆様のご協力・ご理解があってこそ実現できた事業だったと感じています。



一般
質問

高齢者の生きがいづくりについて

質問の趣旨

本市では飯塚市高齢者保健福祉計画において高齢化に伴う様々な課題への対策が示されていますが、私はその中でも「高齢者の生きがいづくり」についてしっかりと検討することが今後の高齢社会において大変に重要な視点ではないかと考え今回の質問を行いました。

永末>飯塚市高齢者保健福祉計画における6つの基本目標とは何か。

次長>健康づくりの推進、安心安全な暮らしを支えるサービスの推進、生きがい活動と社会参加の促進、人と人とのつながりのある地域作りの推進、認知症施策の推進、介護保険事業の推進の6つである。

永末>仮に行政が多額の予算を組んでサービスを提供したとしても、そもそもそれを積極的に活用しようという意欲がなければ有効には働かない。その意欲を高めるものの一つが「生きがい」だと考える。この地で暮らすご高齢の方々が生き生きと生活しているか、楽しく活動できているかということがその街の活力にも繋がると考える。高齢者の生きがいづくりの促進のために現在市が行っている具体的な事業は何か。

次長>各種機関と連携し地域貢献活動の推進、就労機会の提供を推進している。また同様の連携のもと、いきいきサロンの

運営支援による居場所づくりや、趣味や交流など生きがいづくりの場の創出などに努めている。

永末>老人クラブの現状はどうなっているのか答弁を求める。

次長>平成29年からの5年間で9クラブの減、会員数は689人の減となっている。

永末>クラブ数で1割減、会員数で2割減という状況であり、老人クラブという名称を変える検討をするなど抜本的な対策が必要だと考える。また、趣味・交流の場として日常的にグラウンドゴルフを楽しめる環境整備が必要ではないか。

部長>拠点となるグラウンドゴルフ場の整備をするとともに、身近な場所で手軽に楽しめる環境整備も必要だと考えており今後検討していく。

永末>高齢化に関する課題については最近始まったものではなく、従前より認識されてきたものである。新しい発想を積極的に取り入れ今後の抜本的な対策を求める。

一般
質問

庄内地区の現状の確認と将来ビジョンについて

質問の趣旨

特定の地区の経済や人口の動きを観察し分析することでその地域の発展の糸口が見つかると考えています。今回は庄内地区に着目して質問し、地域の将来ビジョンを示しました。ある特定の地域それぞれの将来ビジョンを示すことは健全な競争意識の形成につながり、結果的にそれが飯塚市全体の発展につながると考え今回一般質問として取上げました。

質問の中でわかった飯塚市全域と庄内地区の各種比較

	飯塚市全域	庄内地区
人口の推移(平成29年→令和4年)	130,092人→126,555人(2.7%減少)	10,478人→10,381人(0.9%減少)
小中学校生徒数の推移(平成29年→令和4年)	9,874人→10,044人(1.7%増加)	862人→897人(4%増加)
高齢化率の推移(平成29年→令和4年)	29.6%→32%(2.4%増加)	30.5%→32.6%(2.1%増加)
新築住宅着工数	(直近5年間) 平均434戸	(直近5年間) 平均40戸

上記の比較からわかること

- ◎平成29年から飯塚市全域、庄内地区ともに人口は減少しているが、減少率は庄内地区の方が低く抑えられている。
- ◎平成29年から飯塚市全域、庄内地区ともに小中学校の児童生徒数は増加しているが、増加率は庄内地区の方が高い。
- ◎飯塚市全域に対する庄内地区の人口割合は8.2%である一方、新築住宅着工数の割合は9.2%であり庄内地区の方が人口以上の割合で新築住宅が建設されている。

質問の中で要望した内容

- ◎庄内地区にある老朽化し公募停止の状態にある市営住宅の建替え。
- ◎庄内工業団地、有安工業団地にある企業誘致が可能な土地への積極的な誘致活動。
- ◎コロナ禍により現在休止している庄内生活体験学校での通学合宿の早期再開。
- ◎庄内交流センター「ハーモニー」周辺施設の整備実施
- ◎筑前庄内駅、上三緒駅などのあるJR後藤寺線を恒久的に維持するための要望活動
- ◎登山者が増えている関の山登山道の整備を充実させるための市役所の所管整理
- ◎庄内地区は、農業、宿泊、運動、自然体験ができる環境がそろっている地区であることから滞在型観光での誘客について調査研究を要望

特集

Special Feature

令和3年度決算特別委員会の報告

昨年9月21日から2日間、令和3年度の決算特別委員会が開催されました。これは、令和3年度に一般会計と特別会計で、どのような事業にどのくらい公金を使ったのかを審査する委員会です。その中で、私は以下の事項等について質疑をしましたので、その主なものの内容と私の考えを記載いたします。

1. 協働のまちづくり応援補助金(197万円)

市民の活動などを応援するための補助金です。対象となる団体の条件、対象となる事業内容や補助率、審査基準、応募と採択件数などについて質疑しました。

私の考え

「社会的な課題を解決するために自主的な活動をしたいが事業費が足りない」という相談を受けることがあります。そのような現状を解決する一つ的手段としてこのような補助金制度は有意義だと考えますので、制度をより利用しやすいものとするなどの改善要望を行っていきます。

2. シルバー人材センター補助金等(1,170万円)

シルバー人材センターの運営に関する補助金(880万円)、高齢者や子育て支援事業などへの補助金(140万円)、シルバーショップなどの事業補助金(150万円)です。シルバー人材センターの登録会員への収入を増やし、実費負担を減らす提案をすべく質疑しました。

私の考え

高齢者の働く環境を改善することでその生きがいづくりの場を提供したり、生活負担の軽減に寄与できないかと考えています。年金額の減少、物価高騰、労働者の減少などの社会問題の解決にもつながると考えますので、今後も色々な形で高齢者の生きがいづくりの提案を行っていきます。

3. 児童センター・児童クラブ運営事業費(3億5,484万円)

令和3年度の児童クラブ利用率は、児童数に対して32%となっており、平成29年度の利用率27%から大きく上昇していました。支援員の人件費は会計年度任用職員の保育士単価を、また消耗品費などの経費は前年度実績を参考に積算がされていました。

私の考え

質疑を通して明らかになりましたが、児童クラブの利用率は上昇傾向にあります。そのような中、施設改修や設備の充実、支援員の拡充や労働環境の改善が必要であると考えていますのでしっかりと改善要望を行って参ります。

4. ヘルスケアプロジェクト委託料(4,149万円)

令和3年度の健幸ポイント参加者は2329人で前年度と比較すると約2.6倍となっていました。また、これまであまり運動をされていなかった方々の歩数が平均1270歩増加しているなど、事業として大きな成果が出ていることがわかりました。

私の考え

多くの方がこの健幸ポイント事業に参加いただくようになり、そのことで将来的な医療費の削減が推定されるなどの成果が出ていますが、一番の成果は市民の皆様の健康意識の向上であり、実際に健康になる方が増えていることだと考えます。

5. 有害鳥獣駆除対策事業費補助金(1,177万円)

猪と鹿の捕獲数の推移について、また、その被害状況について質疑するとともに、把握されていない被害などが近年多発している可能性も考慮すべきであると指摘しました。

私の考え

近年、有害鳥獣の被害について相談を受けることが多くなりました。私も自宅の敷地内で被害を受け、本当に身近な問題として認識しています。解決策の一つとして有害鳥獣駆除員を拡充することが有効だと考え、その具体的な提案を行いました。

飯塚市公式LINEがリニューアルされました

飯塚市は公式LINEを開設し、登録された方に様々な行政情報を届ける情報発信事業を行っております。本年3月1日よりその公式LINEがリニューアルされ、様々な機能が加わっています。具体的には、「子育て」、「健康」、「福祉」、「イベント」、「防災」、「文化」などの自分が受け取りたい情報を選択できるようになりました。また、ごみ収集日の定期配信サービスも新たに始まり、設定した地域のごみ収集日に関する通知を受け取ることができるようになりました。

このように公式LINEを登録することで様々な行政情報を受け取ることができますので、まだ登録をされていない方は登録をご検討ください。

※このサービスは無料で提供されますが、通信料やインターネット接続費用等に関しては利用者の負担となります。

飯塚市公式LINE
友だち追加方法

公式LINEを登録することで
様々な行政情報を受け取る
ことができます！

方法
1

LINEの検索より「飯塚市」と入力し検索結果から公式アカウントの「飯塚市」をクリック、「追加」を選択します。

もしくは

方法
2

スマートホンで右のQRコード
を読み取ります。



筑豊緑地にクライミング施設を開設予定

福岡県の施設である筑豊緑地が進化しています。

1.インクルーシブ遊具の新設

既存の芝生広場に、障がい者も健常者も遊べるインクルーシブ遊具が新設されます。

令和5年度事業着手完了予定で、令和6年度には隣接地に障がい者用駐車場及びトイレも整備されます。

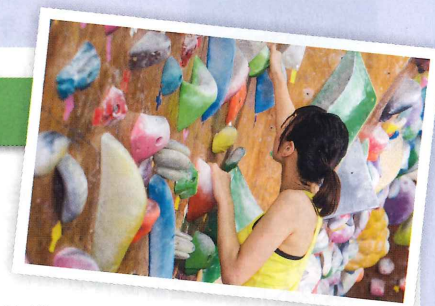
2.スポーツクライミング施設の新設を計画

福岡県が、「ボルダリングウォール(高さ5m以下のロープを使用しないウォール)」、「リードクライミングウォール(高さ15m程度のロープを使用するウォール)」、「スピードクライミングウォール(高さ16m程度の登る速さを競うウォール)」という3つのウォールを備えた国際基準を満たした施設を設置することを計画しています。この規模の施設は九州初となるもので、完成した際には大規模な公式競技会の開催も可能になります。

3.その他改修工事等の実施

屋外ステージにアーバンスポーツの一種であるプレイキン等のダンス環境を整備、野球場の照明器具設備及び人工芝の改修工事、300mトラック改修工事(3~4レーンを400mに延長)などが計画されています。

すでに多くの方に利用されている筑豊緑地ですが、これらの計画が実現した際にはさらに多くの方が利用する施設になることが予想されます。こうした新たな人の流れを地域経済の発展に繋げていけるように福岡県ともしっかりと情報交換を行って参ります。



※画像はイメージです

飯塚市政に対するご意見・ご要望を承ります。以下の方法でご連絡下さい。

ながすえ雄大 連絡先 (行政書士ながすえ行政法務事務所内) 〒820-0116 飯塚市多田180番地1

☎ 0948-82-0012 📠 0948-82-0013

✉ y.nagasue@gmail.com



日々の活動を **facebook** で紹介しております。ぜひアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/yuudai.nagasue>

